



編集後記

2022年に始まったロシアとウクライナの戦争は未だ止まず、さらにイスラエルとハマスの戦争が始まり、地政学的リスクの高まりが世界を震撼させる激動の2023年となりました。戦争だけでなく地球温暖化によると思われる大規模な洪水やハリケーン、山火事、干ばつなども世界各地で多発し、気候変動による環境影響が私たちの身近まで及ぶような深刻な状況となってきました。11月にはCOP28(国連気候変動枠組条約第28回締約国会議)が開催され気候変動対策について話し合われました。この会議での合意文書による「化石燃料の脱却」や「再生可能エネルギーの推進」が今後、世界各地で加速度的に進むものと思われる。

国内では、新型コロナが5月には感染法上の分類が5類に引き下げられ、経済や生活に及んだ障害が終息し、ようやくノーマルな日常生活が戻りつつあります。

このような地政学的リスクの高まりや気候変動による環境影響が進む中でも、私たちの業界の成長や発展に寄与できるような企画を検討しました。

特集では、「資格」をメインテーマに置き、資格取得した技術者の方々に、取得に至る様々な経験談を紹介していただき、これから取得を目指す方々の参考になるものとなりました。

また、資格を取得した後にも、資格取得をどのように活用したか、どんなメリットがあったかなどの経験談を紹介しております。今後、資格取得を目指す方々には、エンジニアとして、より専門的な知識を習得していただき、社会貢献に活かしていただければ幸いです。

特別寄稿では、大同大学 特任教授 大東憲二様からご寄稿いただきました。中部地方でこれまで先生が関わられてきた、地下水問題の黎明期の貴重な論文を基に、地下水調査・対策について解説していただきました。

散文では、以前にシリーズ化しておりました中部地方の博物館・資料館の紹介を復活させました。中部地方に点在する様々な博物館や資料館を順次、紹介していく企画です。今号は三重県総合博物館 学芸員(鉱物・岩石)津村善博様からご寄稿いただきました。「三重の大地は地質景観の宝庫」と題して、三重県総合博物館の紹介とともに、三重県の地質、地形、岩石鉱物などを豊富な写真や資料を基に執筆いただいております。

中部地整と本協会との意見交換会は、通常どおり全対面式で開催され、真摯で活発な意見交換が行われました。中部地整との懇談会も行われ、相互に忌憚のない意見交換ができたのではないかと思います。

その他にも、例年どおり「中部ミニフォーラム」の優秀論文、「常設委員会報告」「現場研修会」の参加報告、「県支部活動報告」を掲載しました。これらの報告が、皆様からの改善・改革へのご意見の機会となり、協会発展の礎となれば幸いです。

また、2024年1月1日に能登半島地震が発生したため、急遽、この文章を付け加えました。今に至るまでインフラ復旧もままならず被災された方々のご苦勞をされていらっしゃると思います。私たちの業界でも、今後、災害対策支援に貢献してまいりたいと思います。

最後に、本号への寄稿や連絡会・報告に御協力いただきました方々に改めて感謝申し上げます。また、誌面編集の都合により各執筆者様からの大変貴重な原稿を多少編集させていただいたことを、お詫び申し上げます。

編集委員会



一般社団法人

中部地質調査業協会「土と岩」No.72

2024年4月1日発行

発行：一般社団法人 中部地質調査業協会
〒461-0004
名古屋市東区葵三丁目 25 番 20 号
ニューコーポ千種橋 403 号
TEL 052-937-4606
FAX 052-937-4607

企画：株式会社建通新聞社 中部支社
印刷：株式会社 グラックス・マツバラ